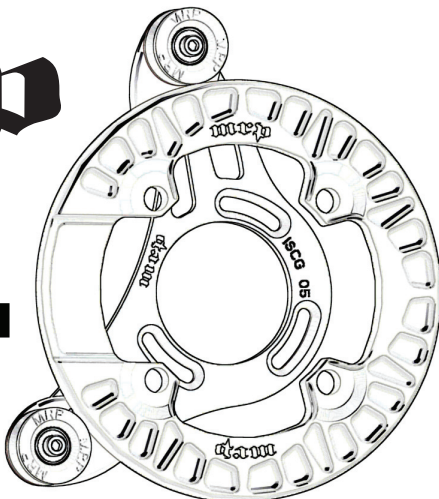


mrp S4



取り付け説明

MRPチェーンリテンションシステムを購入いただきありがとうございます。MRPは90年代半ばから常に変化し続けるダウンヒルとフリーライドのマウンテンバイク界隈でチェーンリテンションシステムを開発してきました。S4にも採用されている、特許を持つMRPのデュアルローラーシステムは素晴らしい信頼性を持ち、静かに機能し、万能に近いフレーム互換性を誇ります。購入されたチェーンリテンションシステムの性能を最大限発揮するために、取り付けはお近くの自転車ショップの熟練のサービス技術者に行ってもらうことをお勧めします。適切に取り付けられたMRPは常に完璧に機能します！

S4は簡単に取り付けられるよう設計を行いました。

取り付けに際しては、一般的にこれらの工具を必要とします：

4mm、5mm、8mmのアーレンキー、適切なBB工具(BBマウント用)、ペダルレンチ



ISCG-05



BB



ISCG

S4ガイドには3種類の異なるマウント用モデルが用意されています。

ご自身の自転車に見合った適切なモデルを確認ください。

- ダイレクトボトムブラケットマウントのブーメランはボトムブラケットカップの締め込みによって取り付けられます。
- ISCGとISCG-05マウントのブーメランはボトムブラケットシェル周囲に設けられた3箇所のタブに取り付けられます。

お乗りの自転車に付いているのがISCGかISCG-05のタブか解らない場合、フレーム製造メーカーに問い合わせください。最適なフィット性と機能性を実現するために、お乗りのフレームに見合ったMRPを購入ください。またMRPはISCGマウントキットをボトムブラケットマウントに変更出来るアダプターを作っています。このアダプターは大半の状況で機能しますが、2-3の反例としてアダプターがチェーンラインを外側に押し出しパフォーマンスが低下、より長いボトムブラケットスピンドルを必要とする、クランクを変更するといった状況になる恐れがあります。

取り付け説明

ステップ1

(自転車からパーツが外されている場合、ステップ3に進んで下さい)レンチを使ってペダルを取り外して下さい。

ステップ2

製造メーカーの説明書に従い、左右のクランクアーム、チェーン、チェーンリングそしてドライブサイドのボトムブラケットカップを取り外して下さい。これは全てのドライブトレイン部品がしっかりと機能しているかを点検する絶好の機会です。ドライブトレインの部品が損傷、すり減っている場合、S4のパフォーマンスを最高のものにするため交換してください。

ステップ3

4mmアーレンキーを使い、上下のローラーがプラスチック製のウェアプレートと共に、アジャストメントトラック内をBBから一番遠い位置まで滑らせることが出来るようボルトを緩めて下さい。移動をさせたらその場所に留まるよう少し締め込んで下さい。



ステップ4

バッシュガードとチェーンリングをクランクスパイダーに組み付けて下さい。バッシュガードはラージチェーンリングの位置(取り付けタブの外側)に、凹んだ部分がクランクの下に来るよう配置してください。チェーンリングはミドルリングの位置、取り付けタブの内側に配置して下さい。チェーンリングボルトのナットは裏側からリング、スパイダー、付属の薄いシルバーワッシャー(シマノセイントM810とSLXM660を除く)、バッシュガードの順に通します。付属の厚いブラックワッシャーはチェーンリングボルトの直下(根元)に挿入します。4.8Nmのトルクでチェーンリングボルトを締め込みます。ボルトを締め込みすぎるとポリカーボネイトパーツにクラックが入る恐れがあります。ロックタイトやワンステップクリーナー、溶液型の潤滑油はバッシュガードに早期不良を引き起こす恐れがあります。

ステップ5

以下の列記したお使いの取り付け形式に従い、フレームにブーメランパーツを取り付けて下さい：

ISCG/ISCG-05

フレームにISCG、ISCG-05の取り付けタブが付いている場合、付属の4mmボルトでブーメランを取り付けて下さい。ブーメランはトップローラーの適切な位置だしを行えるよう30°回転させることが出来ます。まずチェーンリングを真っ直ぐ見ていただいた状態で、トップローラーが11:30の位置に来るようブーメランを設置して下さい。

ISCGのネジを以下の行程で回転させることが出来る程度に締め込んで下さい。



ボトムブラケットマウント

フレームにISCGタブが付いていない場合、ドライブサイドのボトムブラケットカップを取り外し、MRPのブーメランを通して下さい。ボトムブラケットシェルの外端、ボトムブラケットカップがブーメランに接する部分にグリースを貼付する必要はありません。これらの箇所にグリースを塗るとブーメランのスリップを引き起こします。必要であればこれらの箇所にディグリーザーを使って下さい。一般的なセットアップにおいてボトムブラケットカップはMRPブーメランの段差がついた部分に設置され、初期位置は真正面から見た際11:30の位置にトップローラーが来るよう設置して下さい。ボトムブラケットカップはブーメランを保持しつつ、以下の行程で回転させることが出来る程度に締め込んで下さい。

ステップ6

ドライブサイドのクランクアームとボトムブラケットを製造メーカーの取り付け説明に従いしっかりと取り付けして下さい。両ローラーをバッシュガードにさわる程度の位置に設置して下さい。ローラーはどちらもバッシュガードに接する必要はありませんが、2-3mm以上離れてはいけません。ローラーとバッシュガードの間隔が開きすぎると、ローラーとバッシュガードの間でチェーンが巻き込まれる恐れがあります。ローラーの溝はチェーンの真上に来ているかを確認して下さい。そうでない場合、ブーメランやISCG、ISCG-05タブの間に付属のワッシャーを入れる必要があります。

ステップ7

トップローラーの位置を確認してください。自転車が完全に底付きした時のみローラーの溝にチェーンが付くようにしてください。トップローラーはガイドとして設計されており、自転車のトラベル位置がどこであってもチェーンを張る役目は担いません。トップローラーの位置を決めるための一番良い方法はリアショックからエアや金属バネを取り除き、自転車を完全に底付きさせることです。自転車が完全に底付きした時にチェーンがトップローラーの溝に当たるようブーメランを回転させて下さい。ブーメランの位置をマークして下さい。MRPのチェーンリテンション装置はISCGとISCG-05を標準に設計されている点に留意いただきたく思います。経験則として一部のフレーム製造メーカーはタブの位置が標準に従っていない箇所に付いています。これらのフレームは修正もしくは特別な取り付け要項が必要となります。十分な調整幅が得られない場合、それはフレーム製造メーカーが標準規格に従っていない恐れがあります。適合するための更なる取り付け方法をMRPに問い合わせてください。

ステップ8

ドライブサイドのクランクアームを取り外します。ブーメランがステップ7で設定した正しい位置にあることを確認し、修正を行って下さい。ISCG、ISCG-05モデルはISCGスクリューを締め込んで下さい。ボトムブラケットマウントのブーメランをお使いの場合、製造メーカーの取り付け説明に従いボトムブラケットカップを締め込んで下さい。カップを締め込む際、ブーメランと一緒に回ろうとするかもしれませんが、締め込んだ後は再確認してください。製造メーカーの取り付け説明に従い、クランクセットとボトムブラケットを全て付け直して下さい。

ステップ9

最後の仕上げです。全てのボルトと締め具がしっかりと締め込まれていることを確認してください。自転車で乗りストロークさせて、ガイドとフルサスペンションバイクのサスペンション機構もしくはリンケージの間に干渉がないことを確認してください。全てのギアをシフトさせてチェーンの長さを確認します。全てのギアで滑らかにシフトする必要がありますが、チェーンが余分に緩くある必要はありません。大半のフルサスペンションフレームはリアトラベルに対応するため追加のチェーン長を要することをとどめておいて下さい。チェーン長はリアコグの一番大きな歯にチェーンを載せた状態で自転車を底付きさせて、確認してください。

THE MRP DUAL ROLLER SYSTEM IS
PROTECTED BY U.S. PATENT 5725450



MRPBIKE.COM
970.241.3518
580 NORTH WESTGATE DR.
GRAND JUNCTION, CO 81505